

# 阿波地域審議会

---

## 阿波地域審議会委員名簿

委嘱期間 平成23年4月1日～平成25年3月31日

氏名	備考
小椋 懋	会長
歌房 富夫	副会長
大塚 静江	
森 宗柏	
小椋 道典	
高矢 満雄	
稲田 法子	
南 都 貴美子	

---

## 阿波地域審議会の主な規定

### 所掌事務

- (1) 市町村建設計画のうち、設置区域に係る計画の変更及び執行状況に関し、市長の諮問に応じて審議し、答申すること。
- (2) 市町村建設計画のうち、設置区域に係る計画の執行状況及び必要と認める事項に関し、市長に意見を述べること。
- (3) 前2号に掲げるもののほか、その設置区域の振興に関し市長に意見を述べること。

### 委員の任期

委員任期は、2年とする。ただし、欠員が生じた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

### 設置期間

地域審議会の設置期間は、平成17年4月1日から平成27年3月31日までとする。

---

## 平成23年度第1回阿波地域審議会

日 時 平成23年5月23日(金) 午前9時～午後11時30分

場 所 津山市 阿波支所 3階研修室

出席委員 小椋懋、歌房富夫、森宗柏、小椋道典、高矢満雄、大塚静江、  
稲田法子、南都貴美子

市 宮地市長、西山地域振興部長、皆木地域振興部次長、忠政こども保健部次長、山口産業経済部次長、内海生涯学習部次長、久松企業立地課長、分部学校施設課長、目瀬環境生活課長、小坂田観光振興課長、後藤危機管理室長、絹田学校教育部企画調整官、黒瀬こども課主幹、保田阿波支所長、山本課長、後藤課長、三宅主任

傍 聴 者 安東伸昭、藤原照夫、小椋多、寺本初男

---

### 会議次第

- 1 開 会
- 2 委嘱状の交付
- 3 市長あいさつ
- 4 自己紹介(地域審議会委員、市職員)
- 5 会長、副会長の選任について
- 6 議 事
  - ・阿波地域の観光振興について
  - ・風力発電・小規模発電の推進・企業誘致について  
新エネルギーの利活用、誘致について
  - ・阿波小学校校舎の耐震化工事について
  - ・ハザード・マップの見直しについて
  - ・体育施設の管理等について
  - ・合併以降の審議会の内容について
  - ・阿波幼稚園の交流事業の交通手段について
  - ・津山市における東日本大震災復旧支援状況について
  - ・平成23年度阿波支所の主要事業説明報告
- 7 そ の 他
- 8 閉 会

## 議事録の概要

### 1 開 会

<事務局> ただいまより今年度第1回の阿波地域審議会を開催いたします。

### 2 委嘱状の交付

市長より交付する。

### 3 市長あいさつ

### 4 自己紹介

地域審議会委員、市職員

### 5 会長、副会長の選任について

留任で全員一致。

### 6 議 事

・阿波地域の観光振興について

<会長> それでは、議事事項に入らせていただきます。事前に意見、提言を提出していただいておりますので、次第ののって進めさせていただきます。

<委員> 阿波地域の自然を生かした観光事業の施策、また、それに伴い、観光協会の統合を進めていただきたい。

<市> 阿波地域の自然は観光資源になりうると思います。観光情報発信や商品化の取り組みを進めているところであり、また、観光協会の統合について、本年度も引き続き協議を行ってまいりたいと思います。

・風力発電、小規模発電の推進、企業誘致について

・新エネルギーの利活用、誘致について

<会長> 続きまして、風力発電、小規模発電の推進、企業誘致、新エネルギーの利活用、誘致について、お願いします。

<委員> 数年前より加茂、阿波において風力発電の計画が発表されましたが、未着手であります。保安林解除の遅れが原因だと聞いていますが、国に要望され、クリーンエネルギーの開発を推進することを強く要望し、急峻な谷川等を利用しての小規模な発電ができるとともに、豊富なペレット燃料を利用しての小規模火力発電も可能と思います。また、

今が企業誘致のチャンスだと思いますので、これらのことをご一考いただければと思います。

<市> 風力発電事業の遅れの主な原因は、再生エネルギー全量買取制度の決定待ちであること、保安林解除手続きが進まないこと、環境アセスの問題であり、事業計画の変更も考えられるため、動きがあれば機会を見つけ情報提供を行う。企業誘致については、県と連携を図っており、他との優位性をアピールしながら、優遇制度の拡充を検討し、持続的な景気雇用対策の一環として進めていきたい。

<市> 平成21年度に調査研究を行い、風力、太陽光、木質バイオマス等排熱利用等が有望として研究を進めているところであり、地域特性から見て、木質バイオマスエネルギーの利用は有望であり、既にあば温泉のチップボイラー、市内小学校にペレットストーブの導入を進める等取り組んでいます。小規模水力発電について、商用電力に連携させないものは、水利組合等による活用が今後普及していくと考えている。メガソーラーについては、候補地を「久米山」「旧日本原高校跡地」に上がっており、事業者の誘致を図っております。

<委員> 治山堰堤等の国、県の施設を利用して小規模な水力発電を行ってはいかがか。メガソーラーについては、戸島の工業団地を利用して太陽光発電を行ってはいかがか。

<市> 戸島の産業団地については、現状で言うと法的な制約があるため目的外使用は難しいということをご理解いただきたい。

<委員> 制約があることは存じています。条件を緩和するよう国に言ってみてはいかがでしょうか。以上です。

<会長> ありがとうございます。

・阿波小学校校舎の耐震化工事について

<会長> 三番目の阿波小学校の耐震化工事についてお願いいたします。

<委員> 東日本大震災を受けて、国では学校施設の耐震化に補正予算を編成、県においては県立学校の耐震化のペースを上げて行っている。その中、市は耐震化を早める考えはありますか。

<委員> 早く小学校の耐震化を進めていただきたい。

<市> 平成26年度事業完了を目指して進んできております。国の補助が拡大になれば全体の前倒しを行いたいと考えています。

<委員>いつ頃、どのような格好で耐震化を行うかという見通しはないでしょうか。

<市>全体として平成26年度末の完成を目指したい。情勢により少しずつ早まっている状況です。

<会長>小学校のPTAと連合町内会阿波支部長名で市長さんに要望書だけは出させていただいておりますので考えていただきたいと思います。

#### ・ハザードマップの見直しについて

<委員>ゲリラ豪雨等襲った場合、指定されている避難所は非常に危険な場所にあるため、見直しをする考えはないでしょうか。

<市>県により継続的に警戒区域を再調査しており、最新情報を載せたものを整備しなくてはならないという考えを持っており、支所、地域の皆様と協議をしながら見直しができるものは最新情報に加えていくという考えがあります。

<委員>早急に作り直して、住民が安心して安全に生活できるよう対策をお願いします。

<委員>各自治会の避難場所等ですが、地域の自治会の方と相談して作っていただくのが一番よいのではないかと思います。

<会長>阿波地域はゲリラ豪雨等発生した場合、橋がひとつ流されても避難場所に出る手段がないため、難しい問題がありますが、我々も考えますが、市も考えていただきますようよろしくお願いします。

<委員>阿波は今まで非常に危険なことがありましたが、林道や作業道が山腹を切っておりますので、大雨になれば非常に危ない地域ということを認識いただいているいろいろな施策をしていただきたい。

#### ・体育施設の管理等について

<委員>グラウンドがあまりに草が生えている状況である。昨年度まで阿波支所市民生活課の担当が管理を行っていたが、機構改革により支所にいなくなった。教育委員会の窓口を支所にひとり設置していただきたい。

<市>申し訳ありませんでした。阿波支所には教育委員会の分室はなくなっています。4月にマラソンがあり遅れておりました。

<会長> 今後、加茂スポーツセンターに相談すれば阿波地域の施設は配慮していただけますね。

<市> はい。

<委員> 施設の管理ばかりでなく、教育部局は文化財の関係もあるため、教育委員会の職員を常駐とは言わないが配置していただきたいというのが一番の願いです。

<市> 検討させてください。

<会長> 特に加茂スポーツセンターに言わなくても、支所に対応していただきますようよろしくお願いします。

・合併以後の審議会の内容について

<会長> 合併以後の審議会の内容について、委員さんからのお尋ねがありますのでよろしくお願いします。

<委員> どれだけ今までしていただいたのか、また、他の地区と比較した場合、どれくらいの割合で実施されたのか聞かせていただければと思います。

<市> 他の地区では地域振興基金があり、それを使い公民館等を整備しております。阿波については、その基金がないという状況で、できればソフト面の事業を阿波においては展開させていただくというふうに考えております。実施率については、ハード面では何パーセントが分かりやすいですが、ソフト事業についてはなかなか把握が分かりにくいと思っております。

<市> 成果について、現在まとめさせていただいています。次の審議会でお配りさせていただきますので、ご了承願います。

・阿波幼稚園の交流事業の交通手段について

<委員> 阿波、加茂、公郷の3園合同の交流会が月1回行われているが、4月のバス運行時刻の変更で利用しにくくなっている。市として何か対策はとれないか。

<市> 今回の阿波バスのダイヤ変更は、阿波バスを存続していくために地域の方々と協議をしたうえで実施したものであり、行事への対応でダイヤを編成するのは難しい。

<市> 園と協議をし、代替手段としてバスやジャンボタクシーの借り上げ等も検討しているところですが、十分な予算確保ができないということもあります。これからできる範囲で対応させていただきたいと思っております。

<委員> 阿波からは人数が少ないので、家で送迎できますが、加茂からバスを利用すると阿波に来るのが昼頃になるため、せっかくの交流の時間が短いので考えていただきたい。

<市> 協議させていただきたいと思います。

10分間休憩

・津山市における東日本大震災復旧支援活動について

<会長> 再開させていただきます。津山市における東日本大震災復旧支援状況について報告をいただきます。

<市> 東日本大震災復旧支援状況について、支援体制、救援物資、義援金、派遣活動等について説明。

・平成23年度阿波支所の主要事業説明報告

<会長> 続きまして、平成23年度阿波支所の主要事業につきまして、よろしく申し上げます。

<市> 市民生活課から阿波ふるさと祭り、阿波ふるさとふれあい納涼祭り、粗大ごみ収集業務、産業建設課から中山間地域等直接支払交付金、市道整備事業、林道整備事業、森林整備地域活動支援交付金事業、市有林整備事業について説明。

・その他

<会長> その他に入ります。ちょっと皆様方で特にこれだけはということがありましたら。

<委員> 林業について、木材の付加価値を向上させるための施策を充分考えていただき、いろいろな助成等お願いしたい。阿波は今後も雪対策を充分お願いしたい。雪下ろし等のボランティア保険等を考慮していただければと思います。

<会長> これはすぐ返事というわけにはいきませんので、その点ひとつ考えていただきますようよろしくお願いいたします。

<委員> 阿波の町づくりに力を注いでいただきましてありがとうございます。これを途中で止めることなく、よろしくをお願いします。

<市> 今行っている阿波の過疎地域対策がいいモデルになると思いますので、是非頑張っていきたいと思います。よろしくをお願いします。

<会長> 今日本当に忙しい中を市の皆様方には阿波に来ていただきましてありがとうございました。今後におきましてもどうぞよろしくをお願いします。今日の第 1 回の審議会を閉会させていただきます。どうもありがとうございました。